木彫り熊
北海道 川上郡

熊はアイヌ語で「キンカムイ(山の神)」と呼ばれ敬われてきました。生まれたときは人の手のひらに入ってしまうほど小さな子熊が、人間の体長よりはるかに大きく育つことから、木彫りの熊は子どもの成長を祈り、「大きくなれ」「大物になれ」という願いが込められています。

栗田民芸店
〒088-3465 北海道川上郡弟子屈町川湯温泉 2-5-21
TEL 015-483-3618

ニポポ
北海道 網走市

アイヌ語で「小さな木の子ども」を意味する木彫り人形です。ニポポに願いをかけると必ずかなえてくれるといわれ、山での狩りや海の漁に出る際にお祈りし、収穫があると美しい飾りをかけて感謝しました。60年ほど前から網走刑務所内で更正を誓う受刑者により全て手彫で丹念につくられています。

(社) 網走市観光協会
〒093-0003 北海道網走市南3条東 4-5-1
TEL 0152-44-5849

下川原焼土人形 鳩笛
青森県 弘前市

下川原焼は日用雑器をつくる津軽藩の御用窯でした。当時の藩主が津軽の地に玩具が少ないことを憂い、冬期の閑暇を利用して土人形をつくることを命じました。以来約200年間、鳩笛や干支笛などさまざまな人形がつくられており、津軽を代表する縁起物として人々から親しまれています。

阿保 正志
〒036-8083 青森県弘前市新里字上樋田 85-2
TEL 0172-27-3766

八幡馬
青森県 八戸市

八幡馬は「日本三大駒」の一つで、八戸で750年前につくられた木馬を原型としています。華やかな模様は南部地方の嫁入りする際の盛装馬の装束を表しています。馬は古来より邪気を祓う神聖な動物として大切にされてきました。幸福、発展、繁栄を願う縁起馬です。

(株) 八幡馬
〒031-0071 青森県八戸市沼館 2-5-2
TEL 0178-22-5729

六原張子 起き上がり小法師 犬
岩手県 胆沢郡

張子は通常木型などの外側に和紙を貼って作成しますが、六原張子は凹型の型に成島和紙を丹念に張り付ける「内張り」という技法でつくられます。起き上がり小法師の干支人形は、震災の苦しみから立ち上がれるように、との願いをこめてつくられています。

さわはん工房
〒029-4501 岩手県胆沢郡金ケ崎町六原東町 50-36
TEL 0197-43-3397

張子 戌
岩手県 花巻市

宮沢賢治の生誕地としても知られる岩手県花巻市。豊かな文化を育み、古くからの伝統が息づくこの地では郷土玩具も数多くつくり続けられています。節句や年中行事に合わせ、人々は様々な願いを込めて人形を飾ってきました。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾ることで一年間家を守ってくれるといわれています。

小田島民芸店
〒025-0098 岩手県花巻市材木町 10-20
TEL 0198-23-4856

堤人形 羽織招き猫
宮城県 仙台市

堤人形は伊達政宗公の時代に藩内の産業発展のため始まりました。現在でも当時の型を使ってつくられており、千数百個にのぼる土型の一部は、仙台市の有形文化財に指定されています。正月らしく正装してお招きしています。

つつみのおひなっこや
〒981-0912 宮城県仙台市青葉区堤町 2-10-3431
TEL 022-233-6409

仙台張子 戌
宮城県 仙台市

仙台では毎年、和紙の柔らかい表情を活かしたかわいらしい首振りの干支人形がつくられ親しまれています。十二支は古代中国で時を表す単位として用いられており、文字の読めない庶民にも理解できるよう動物の名をあてはめたといわれ、現代にも息づく信仰の対象となっています。

高橋はしめ工房
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中江 2-8-5
TEL 022-222-8606

弥治郎こけし
福島県 いわき市

こけしは昔、木地師が子どもに与えた玩具が発祥で、次第に湯治場のお土産ものとして東北地方で盛んにつくられるようになりました。伝統こけしには現在11の系統があり、弥治郎こけしは宮城県の弥治郎地区で誕生しました。頭のベレー帽のようなろくろ模様が特長で、少女の愛らしい表情が見る人の心を和ませます。

木地処さとう
〒970-8022 福島県いわき市平塩字徳房内 92-3
TEL 0246-22-0246

白河だるま
福島県 白河市

300年ほど前からつくられている白河だるまは、眉は鶴、ひげは亀、頬のびんひげは松と梅、あごひげは竹を表す、大変縁起のよいだるまです。願いを込めて向かって右側の目に目玉を入れると必ず成就するといわれています。

白河だるま総本舗
〒961-0907 福島県白河市横町 30
TEL 0248-23-3978

三春張子 宝いぬ
福島県 郡山市

三春で張子人形がつくられ始めたのは、一説によると三百数十年前。京都の伏見人形が三春地方に伝わり、高柴村の人々がそれを真似、副業として張子人形をつくり始めました。今でも「高柴デコ屋敷」と呼ばれる集落で様々な郷土玩具がつくられています。丸くて可愛らしいこの張子は、「宝いぬ」という名の縁起物として親しまれています。

彦治民芸 (有)
〒963-0902 福島県郡山市西田町高柴字舘野 80-1
TEL 024-972-2412

中湯川人形 こらんしょ犬
福島県 会津若松市

会津若松市の山中でつくられる中湯川人形は、数多くの型があり、それぞれ個性的な表情を楽しむことができる土人形です。「こらんしょ」とは当地の言葉で「どうぞ、こちらにお出でください」という意味。三つ指をついて福を歓迎する、招福の干支人形です。

工房 千想
〒965-0815 福島県会津若松市東山町中湯川 256
TEL 0242-28-1640

赤べこ
福島県 会津若松市

会津地方では牛のことをべこと呼びます。1200年ほど前の、会津柳津・福満虚空藏尊圓藏寺の建立の際、最後まで働き通したのが赤色の牛と伝えられています。その赤色の牛にあやかり昔から子供の誕生には壮健を祈り、また疫病除としても贈られ、親しまれています。

(有) 民芸処番匠
〒965-0811 福島県会津若松市和田 1-6-3
TEL 0242-27-4358

高崎だるま
群馬県 高崎市

少林寺達磨寺で七草の縁日に売り出されたのが縁起だるまの始まりです。まゆは鶴、ひげは亀を表し、転んでも起き上がることから、七転び八起きの縁起ものとして大切にされてきました。片方の目に願を掛け目入れし、願いがかなうと残りの目を入れる風習は、養蚕農家から広まりました。

吉田だるま店 (株)
〒370-0868 群馬県高崎市鼻高町 43-7
TEL 027-327-4927

張子 犬
埼玉県 越谷市

埼玉県は大都市江戸に近かったことから、玩具の一大生産地として栄え現在に至っています。犬は一度に複数の子供を生み、出産も軽いことから、昔から安産や子供の健康を祈願するお守りとして親しまれてきました。

鈴幸人形店
〒343-0025 埼玉県越谷市大沢 4-6-52
TEL 048-976-2266

芝原人形 羽衣狆
千葉県 長生郡

千葉県長生郡で明治初期からつくられている土人形です。狆は日本原産の犬で江戸時代はお座敷犬としてかわいがられてきました。犬は多産でお産が軽いことから、安産、子宝を願う縁起物とされています。

芝原人形 草の子窯
〒297-0154 千葉県長生郡長南町岩撫 44-1
TEL 0475-46-0850

今戸焼 鉄砲ぎつね
東京都 台東区

浅草寺に近い東京都台東区の今戸で焼かれている土人形です。今戸には江戸時代、いくつもの窯があり日用雑器などがつくられていました。稲荷神社への奉納品として親しまれた狐の人形は、鉄砲の弾に似ていることから鉄砲ぎつねと呼ばれます。ひげがあるほうが雄ぎつねです。

今戸焼白井工房
〒111-0024 東京都台東区今戸 1-2-18
TEL 03-3872-5277

ザル被り犬
東京都 台東区

ザルを被っているのは、赤ちゃんのカンの虫をザルで取る、よく水を通すザルが鼻づまりを治すなど、江戸の粋な洒落がこめられています。竹かんむりの下に犬と書くと「笑」に似た漢字になることにもあやかり、安産と子どもの健やかな成長を願う犬張子です。

伊勢一商店
〒110-0001 東京都台東区谷中 4-4-22
TEL 03-3822-2455

赤ふくろう
東京都 台東区

ふくろうは「不苦労」と当て字し、苦労知らず、または「福来」で福が来るともいわれ、縁起のよい鳥として親しまれてきました。また、夜目が利くため「世間に明るい」という意味もあり、知恵の神として学業の御利益があるともいわれています。

江戸趣味小玩具 仲見世 助六
〒111-0032 東京都台東区浅草 2-3-1
TEL 03-3844-0577

とやま土人形 犬と瓢箪
富山県 富山市

とやま土人形は、江戸時代末期から発展し、縁起物や民間信仰の神像、子どもの玩具など、様々な土人形がつくられ親しまれてきました。犬はお産が軽いことから安産、瓢箪は種が多いことから子孫繁栄の縁起物として信仰されてきました。

とやま土人形工房
〒930-0881 富山県富山市安養坊 1118-1
TEL 076-431-4464

五箇山の紙塑人形 犬
富山県 南砺市

世界遺産の合掌造り集落で有名な富山県五箇山では古くから手漉き和紙の生産が行われていました。和紙生産の際に出る原料の端材を再利用し、手づくりの紙粘土に加工します。紙粘土を型に押し込み、形づくって着彩したものが紙塑人形で、伝統的な獅子頭や干支の人形など愛らしい縁起物がつくられています。

農事組合法人五箇山和紙
〒939-1923 富山県南砺市下梨 148
TEL 0763-66-2016

金沢張子 犬
石川県 金沢市

金沢に数多くある玩具は、江戸時代後期に加賀藩の下級武士の手内職として広まり、正月の市や祭礼の際に売られていました。干支張子は愛嬌たっぷりにゆらゆらゆれる起き上がりのかたちをしています。

中島めんや
〒920-0902 石川県金沢市尾張町 2-3-12
TEL 076-232-1818

うるしダルマ
福井県 小浜市

うるしダルマは、うるしの塗箸の生産地として有名な福井県若狭地方でつくられる工芸品です。塗箸でもつかわれる合成うるし(※)を固め、削りだして加工した独特のだるまで、起き上がり小法師を原型とするだるまとは異なり、三角形や台形などの「転ばない」かたちが、受験のお守りとしても珍重されています。

※合成樹脂のため、本製品は本うるし製ではありません。

ツカモト民芸センター
〒917-0001 福井県小浜市福谷 8-29-8
TEL 0770-52-2590

乙川人形 招き猫
愛知県 半田市

乙川人形は、およそ200年前、飛脚を生業とした初代が、京都で目にした伏見人形に心をひかれ、試行錯誤を繰り返しつくりあげた土人形です。常滑焼などに見られる一般的な陶製の招き猫は、乙川人形を原型としているといわれています。千客万来、商売繁盛、福を呼び込む招き猫です。

乙川人形屋
〒475-0048 愛知県半田市乙川稗田町 170
TEL 0569-21-5056

西尾の狆
愛知県 西尾市

狆は日本原産の犬で、江戸時代にはお座敷犬としてかわいがられていました。犬は多産でお産が軽いことから、安産のお守りとして、ひとつを氏神さまに、ひとつを手元に置いておくとご利益があるといわれています。

吉良の赤馬
〒445-0014 愛知県西尾市つくしが丘 6-6-4
TEL 0563-52-4431

伏見人形 干支 犬
京都府 京都市

千本鳥居で有名な京都の伏見稲荷大社の門前には、古来より土師部が住み焼物をつくっていました。江戸時代に入ると参拝客の土産品として土人形が珍重されるようになり、その技法は全国に伝わっていきました。今では国内に90種類以上ある土人形の元祖であるといわれています。

丹嘉
〒605-0981 京都府京都市東山区本町 22-504
TEL 075-561-1627

大阪張子 虎張子
大阪府 柏原市

大阪張子は子どもの成長を祈る玩具として室町時代から親しまれてきました。日本で初めて毘沙門天が現れたとされる信貴山の朝護孫子寺では、張子の虎がお守りとして授与され、大阪張子を原型とした「世界一福寅」も親しまれています。大阪では5月5日の端午の節句に、兜とともに張子の虎を飾って男の子の成長を祝います。

大阪張子工房 峯商店
〒582-0007 大阪府柏原市上市 1-4-12
TEL 072-973-0423

初瀬出雲人形 座り犬
奈良県 桜井市

奈良県桜井市出雲でつくられる初瀬出雲人形の歴史は大変古く、約2000年前の土偶の生産が起源とされています。現在でも窯を使わず、籾殻を燃やして野焼きにより焼成されています。犬は多産でお産が軽いため、安産や子育てのお守りとして親しまれてきました。

水野 佳珠
〒633-0122 奈良県桜井市出雲町 1208
TEL 0744-47-7255

張子 Good Dog
奈良県 香芝市

犬は昔から安産と子どもの成長を願う象徴とされてきました。そしてこの犬の張り子は、障害のある人の新しい仕事を生み出す拠点「Good Job! センター香芝」のオリジナルマスコットになっています。また、郷土玩具の新しい可能性として、3Dプリント技術と手仕事を組み合わせて制作されています。

Good Job! センター 香芝
〒639-0231 奈良県香芝市下田西 2-8-1
TEL 0745-44-8229

一刀彫 鶏合せ
和歌山県 田辺市

良質な木材の産地である紀州で育ったヒノキを両面一刀彫で仕上げ、二羽の紅白の鶏が向かい合って描かれています。丸い底が揺れることで、二羽の鶏が闘っているようにも見え、「平家物語」の紅白闘鶏を彷彿とさせます。

文左
〒646-0028 和歌山県田辺市高雄 1-22-9
TEL 0739-22-9955

瓦猿
和歌山県 和歌山市

瓦猿はその名の通り、瓦の製法でつくられる猿の土人形です。江戸時代より和歌山市田中町は瓦町と呼ばれ、瓦職人の町として栄えてきました。その頃から安産・子授けの祈願で奉納されてきましたが、近年では「変わらざる」ということで安泰を祈願するお守りとしても広まっています。

野上 泰司郎
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町 4-112
TEL 073-425-1988

鳥取のえと 戌
鳥取県 鳥取市

鳥取は古くから民藝や手工芸がさかんな土地柄もあり、戦後から、伝統的な流し雛づくりの傍らで干支人形がつくられてきました。モダンな色使いや表情が新鮮な印象です。

信夫工芸店
〒680-0015 鳥取県鳥取市上町 116
TEL 0857-23-0506

岩井温泉の十二支 戌
鳥取県 岩美郡

1300年の歴史がある山陰最古の「岩井温泉」。江戸時代より木地師がろくろ挽きの食器などをつくってきましたが、温泉地のお土産ものとして、愛らしい干支の人形が親しまれるようになりました。素朴でユーモラスな表情をしています。

おぐら屋
〒681-0024 鳥取県岩美郡岩美町岩井 319
TEL 0857-72-0520

玉島だるま
岡山県 倉敷市

西日本では数少ないだるまの産地である玉島地区の玉島だるまは、戦後から生産が始まりました。起き上がりこぼしのような郷土玩具として幅広い世代に親しまれ、子どもの健やかな成長を願ったり、合格を祈願したりする願掛けだるまとして広く利用されています。

玉島だるま虎製造所
〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島 915-7
TEL 086-522-3753

木彫り 福犬
岡山県 英田郡

岡山県のヒノキで、ひとつずつつくられた干支の福車です。森を受け継ぎ、育ててきた土地ならではのヒノキは、美しい木目と香りを楽しめます。福犬は、犬が走ると、まわりに福が回るという想いが込められた、縁起の良い干支の車です。

ようび
〒707-0502 岡山県英田郡西粟倉村坂根 43
TEL 0868-75-3223

長州土鈴 大漁土鈴
山口県 美祢市

河豚は下関では「ふく」と呼ばれ、幸福の福を重ねて縁起をかつぎ、福をもたらす魚として昔から愛着を持たれてきました。大きな「ふく」を引っ張る姿が愛らしく、大漁祈願として親しまれてきました。

(有) 民芸くらもと
〒754-0511 山口県美祢市秋芳町秋吉 614
TEL 0837-62-0208

大谷焼 たぬき
徳島県 鳴門市

徳島県の鳴門市にある大谷焼は江戸時代から続いており、食器や置物、花器などがつくり続けられています。阿波狸合戦でも有名な、たぬきがモチーフになっています。振るとカラカラと鳴り、おなかの太鼓をたたいているようにも感じられます。

大谷焼 陶業会館 梅里窯
〒779-0302 徳島県鳴門市大麻町大谷字道の上 30-1
TEL 088-689-0048

高松張子 福戌
香川県 高松市

扇をもった可愛らしい干支の張子です。高松市内には江戸時代から玩具や人形をつくる店が多くあり、張子の人形は子どもの遊び道具や、子どもの病気の身代わりや魔除けとして用いられてきました。

張子工房ウスイ
〒761-8012 香川県高松市香西本町 33-7
TEL 087-882-6367

土佐木彫 闘犬 車付
高知県 高知市

この地方では昔から木彫りの車がお土産としてつくられてきました。高知県の天然記念物にも指定されている土佐の闘犬は、ひとずつヒノキの木からつくられています。立派な化粧まわしを締めながらも、どこか可愛らしい表情をしています。

とさ民芸店・ちゃまみギャラリー
〒780-0833 高知県高知市南はりまや町 1-15-7
TEL 088-882-0171

土佐漆喰人形 闘犬
高知県 吾川郡

土佐の闘犬をモデルにした土佐和紙と漆喰を使ってできた人形です。横綱の闘犬は化粧まわしに綱を締めて、貫禄を漂わせています。漆喰の手触りや柿渋、漆喰と顔料を混ぜてできた塗料で着色することで、闘犬の勇ましい姿は残しつつも、可愛らしく優しい佇まいをしています。

草流舎
〒781-2110 高知県吾川郡いの町 3811
TEL 088-892-1045

筑前津屋崎人形 裃戌
福岡県 福津市

筑前津屋崎人形は1700年代より続く土人形です。子どもの成長を願い贈られる愛らしい雛人形や、凛々しい武将の節句人形、地元の祭り「津屋崎祇園山笠」の飾り人形など、変わらず地域に根付き愛されてきました。

筑前津屋崎人形巧房
〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 3-14-3
TEL 0940-52-0419

筑前津屋崎人形 モマ笛
福岡県 福津市

福岡県津屋崎ではふくろうのことを「モマ」といいます。ふくろうは先を見通す能力を持つ生き物とされます。「ホウホウ」と優しい音色を奏でるこの土笛は、吹くと気道が広がることから、かつてはお年寄りが食べ物を喉につまらせないおまじないとして、食卓で吹かれていました。

筑前津屋崎人形巧房
〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 3-14-3
TEL 0940-52-0419

のごみ人形 いぬ鈴
佐賀県 鹿島市

日本三大稲荷のひとつ、祐徳稲荷神社の参道で売られるのごみ人形。染色家であった初代は鍋島藩に伝わる木版更紗の技法の復刻につとめ、一方で第二次大戦後の世の中を明るくしたいという想いから土人形をつくり始めました。

のごみ人形工房
〒849-1314 佐賀県鹿島市大字山浦甲 1524
TEL 0954-63-4085

古賀人形 狆
長崎県 長崎市

京都の伏見人形、宮城の堤人形と並び、日本三大土人形に数えられる長崎の古賀人形の創業は1592年。鮮やかな色彩を用い、西洋人や支那人を表した人形も数多くあります。狆をモチーフとした郷土玩具は数多くあるなか、古賀人形の狆はどこか異国情緒が漂っています。

小川 憲一
〒851-0103 長崎県長崎市中里町 1533
TEL 095-838-3869

鳩笛
大分県 別府市

温泉どころとして有名な別府市で、廃絶した郷土玩具の復刻を手がける豊泉堂。吹き口が赤い鳩笛は、昔から子どもの喉づまり除けのお守りとして親しまれてきました。

豊泉堂
〒874-0842 大分県別府市小倉 1-1
TEL 0977-21-1040

佐土原人形 狆
宮崎県 宮崎市

佐土原人形は400年ほど前朝鮮から来ていた陶工に習ってつくられたのが始まりと言われています。明治時代初期から大正時代に盛んにつくられるようになり、多くの人に親しまれてきました。今でも昔から残る型を元につくられ、土でできる素材さとかたち、温かい色調が特長です。

佐土原人形店 ますや
〒880-0301 宮崎県宮崎市佐土原町上田島 1396-10
TEL 0985-74-4349

キジ馬
熊本県 人吉市

キジ馬は九州各地で見られる鳥型の車の玩具のひとつで、人吉のきじ馬は頭の上に「大」の文字が描かれているのが特長です。一説には壇ノ浦の戦に敗れた平家の一門が人吉球磨地方に逃れたのち、生活の糧としてきじ馬をつくりはじめ、華やかな都の生活を懐かしみながら、故郷である京都の大文字焼きを想い「大」の文字を入れたといわれています。

宮原工芸
〒868-0082 熊本県人吉市中林町 512-2
TEL 0966-23-3070

木葉猿 団子猿
熊本県 玉名郡

1300年前、木葉山の赤土で祭器をつくり、残りの土を捨てたら猿に化したという伝説から生まれたと伝えられる木葉猿。魔除け、災難除け、安産、子宝、子孫繁栄の守り神として古くから親しまれています。型を使わず指先だけで粘土をひねってつくられ、茶色い肌は素焼きそのままの素朴な風合いとなっています。

木の葉猿窯元
〒869-0303 熊本県玉名郡玉東町木葉 60
TEL 0968-85-2052

帖佐人形 狆
鹿児島県 姶良市

帖佐人形の歴史は古く、1597年慶長の役の朝鮮出兵の帰途、島津義弘と共に渡来した陶工達が、帖佐村に窯を築き帖佐焼を始めると共に、人形の製作も始め地元民に継承したのが創始とされています。目に鮮やかな色彩は、いかにも縁起がよく、桃の節句や端午の節句など節目の日に縁起物として贈られる風習があります。

帖佐人形窯元
〒899-5431 鹿児島県姶良市西餅田 1372
TEL 099-227-7514